

第2回学園運営協議会



2024.6.11

学校・家庭・地域の近況報告



池田委員

6月2日の「こどもまつり」、400人以上の参加があつてにぎわった。ボランティアも中学生20人を含め70人の参加・支援があつた。

減少傾向にある資源回収活動の売り上げを昨年度の10倍にしたい。まずはアルミ缶の回収で大人の本気を示したい。



杉埜委員

参観した授業について



森委員

先生たちの表情が明るく前向きで、新たな授業にチャレンジしようとしていて素晴らしい。「自己選択」には①対象、②ゴール、③方法の選択がある。明確化するとよかった。



学園の教育目標の実現に向けて

【教育支援部】地域交流会が5年間実施できていないことが課題。また「学園サポーター」は約100人登録があるが活動が広がっていない。募集方法とともに**年間の活動に見通し**が持てるようにしたい。

【協働部】5,700世帯中自治会加入は3,500世帯。いかに地域に広報するかが課題である。子どもたちの**地域と協働した学習活動の成果が、地域住民に広く伝わる方法をさらに工夫**したい。

【地域貢献部】貢献活動の基盤ができている。地域のイベントでは企画段階から、中学生だけでなく小学生の関わりもある。**日の里まつり**では中学生ボランティアに加え、小学生の「踊り隊」に期待したい。

授業参観や運営協議会の各部の熟議の様子を見ると、日の里学園はまさに「充実期」にある。これを持続可能にするには、①地域が子どものチャレンジを積極的にほめて認めるなど充実感を高める、②家庭・地域への情報提供・啓発を工夫する、の2点が必要である。



森委員